

子どもたちの「おもしろいを形に！」を 長野のモノづくりの未来につなげたい

～子どもたちの学びの場を、地域で支えるプラットフォーム～

Nagano Tech Style Lab とは？

- **対象**：長野県の中学生・高校生
- **内容**：ロボット、電子工作、プログラミング、IT・AI、デザイン、データ活用
- **目的**：将来の技術人材・関係人口を地域で育てる
- **特徴**：現役教員・大学教員・専門家が指導
- **企業メリット**：地域貢献 × 将来人材との早期接点
- **支援方法**：年会費制の賛助会員（法人 20 万円～）

■社会背景 2030 年、労働力不足が深刻になります

2030 年を境に、日本全体で 若い世代の人数がさらに減り、働き手不足が一気に進むと予測されています。とくに製造業では、現場部門（生産現場）間接部門（生産管理・品質管理・情報システム・総務経理労務など）の職種で人材が不足します。その不足の一部を

- IT・テック（ソフトウェア・クラウド・ネットワーク技術など）
- メカトロニクス（機械電気・制御・ロボット）
- データサイエンス・情報分析

といった IT テクノロジーで補う必要があります。人の数が減っても、IT デジタルで作業を効率化すれば少ない人数で仕事ができます。同時に、工場や会社の IT 環境を守るサイバーセキュリティの知識を持った人材も必要です。それには、子どもの頃から、IT・メカトロニクス・テックの技術に触れて興味の芽を育て、モノづくり人材の裾野を広げる必要があります。名付けて「ながのテック人材バレー」構想です。

2030 年に中学校の学習指導要領が改定されます。今の技術・家庭科の技術分野は「情報・技術科（仮称）」となり、情報技術を基盤とした内容に再編される方向が予定されています。「情報分野の IT・AI・データ」と「手を動かすものづくり」を学ぶ時代 がやってきます。学校の外で興味を拡張できる場を作っておきます。

■具体的に何をするの？

Nagano Tech Style Lab が提供すること 技術・ものづくりの地域クラブの運営支援と直営

- ロボット製作・電子工作・プログラミング
- 3D プリンタや工具を使ったプロダクトづくり
- センサーやマイコンを使った簡単な IoT 体験
- 省燃費自動車、EV の設計・製作

IT・データサイエンスの入口になる体験イベント

- センサーや実験データを集めてグラフにしてみる
- 「データで考えるってどういうこと？」を知るミニワーク
- 生産や品質のデータをイメージした、かんたんな分析体験

ワークショップや発表会

- 週末や長期休みに開催する体験講座
- 子どもたちの作品展示・発表会
- 保護者や地域の方、企業の方も一緒に参加できる場づくり

企業・大学との連携プログラム

- 工場見学 + 現場と間接部門（生産管理・IT など）の仕事紹介
- 自社製品・技術を題材にした「技術体験ワークショップ」
- サイバーセキュリティ・データ活用入門的な講座
- 工場見学を通して地域の企業を知る

これらの活動は、現役の技術科教員・大学教授・高専教授・専門家 が中心に指導をします。

デザイン・知財の領域は女性の才能が活躍

モノづくりの周りには「いろんな仕事」があります。「モノづくり」というと、どうしても「機械が好きな男の子の世界」というイメージが残りがちです。ですが実際には

- プロダクトデザイン・工業デザイン
- Web スマホの UI/UX・サービスデザイン
- 特許・意匠・商標を扱う「知財」

の領域があり、女性を含め、さまざまな才能が活躍できるフィールドが広がっています。

いろいろな入口を用意し、「自分にも合うかも」という気付きを増やします。

10年後、子どもたちはこんな人材に育ちます

- 生産技術・機械・電気・制御エンジニア
- 生産管理・品質保証・調達・物流のデータ活用人材
- 社内 SE・IT インフラ・DX 推進担当・サイバーセキュリティ・ネットワーク担当
- 工業・プロダクトデザイン、知財の専門人材

全員が地元に残る必要はありません。一度外に出て、U・I ターンで戻る人材も含め、「長野と関わり続ける人＝関係人口」を増やします。

「人的資本経営」に取り組む企業様は、投資対象を「プレ社会人（学生）」まで拡張！！

最近「人的資本経営」や「人的資本の情報開示」という言葉を耳にする機会が増えてきた方も多いかもかもしれません。人的資本経営とは「人をコストではなく、将来の価値を産み出す“資本”として しっかり育てていきましょう」という考え方です。

上場企業は情報開示が義務化されていますが、今後、中小企業でも取り組み始まっています。今の人、これからの人に投資をする視点が求められています。

企業にとっての3つの価値

1. 将来人材との“超早期接点”づくり
2. 社員が誇れる地域貢献（エンゲージメント向上）
3. 人的資本経営・ESG 文脈で語れる実績

👉 教育支援であり、同時に未来への投資です。

■資金支援のお願い

なぜ「会員としてのご支援」が必要なのか？

これまでの活動は、教員や専門家のボランティアで支えられてきました。

しかし、それでは **質と継続性を保つことができません**。子どもたちのためには、専門性ある指導者、無理なく続く体制、安定した運営基盤が不可欠です。

会費はこんなふうに使われます

- ・ 現任教員・大学教員・専門家・IT エンジニアなどへの謝金
- ・ ロボット、電子部品、工具、3D プリンタ用フィラメントなどの教材・機材費の補助
- ・ ノート PC・タブレット、センサー、ネットワーク機器など IT・データ系プログラムの環境整備の補助
- ・ 会場費・保険料・運営スタッフなどの 運営費用
- ・ 各地域での新規クラブ立ち上げ・学校との調整など、普及・コーディネート費用

「子どもたちの学びと成長の場」のインフラと運用する費用で使わせていただきます。

■賛助会員制度のご案内 ※期間は年度単位（4月～翌3月）です。

区分	法人年会費	個人年会費	イメージ
ブロンズ	200,000 円	1 万円	地域貢献・教育支援の「まず一步」
シルバー	300,000 円	3 万円	継続的な活動支援・複数クラブの応援
ゴールド	500,000 円	5 万円	中長期の人材育成パートナー
プラチナ	1,000,000 円	10 万円	事業全体のトップパートナー

法人賛助会員の主な特典

- ・ Web サイト・パンフレット等での企業名・ロゴ掲載
- ・ 活動レポート・イベント情報の共有（年次／半期レポート）
- ・ 年次発表会への来賓ご招待
- ・ 子どもたちの発表会・作品展示会へのご招待
- ・ 教育・人材育成・地域連携などに関する情報や事例のご提供
- ・ 御社の技術や仕事を題材に体験プログラム・職場体験・工場見学・インターンの企画
- ・ 採用につながる接点づくりの相談

細かい関わり方は、法人様ごとにご相談調整しながら進めていきます。

「うちはあまり手をかけられないけど、静かに応援したい」

「社員にも関わってもらいながら、プログラムと一緒に作ってみたい」などご相談ください。

個人賛助会員の主な特典

- ・ Web サイト・パンフレット等での個人名掲載（ご希望の場合）
 - ・ 活動レポート・イベント情報の共有（年次／半期レポート）
 - ・ 年次発表会への来賓ご招待
 - ・ 子どもたちの発表会・作品展示会へのご招待
-

代表理事のメッセージ

子どもたちが「これ、オモシロイ！」と目を輝かせる瞬間には、学びと成長のエネルギーが詰まっています。長野県はモノづくりの力で発展してきた地域です。

これからは、モノづくりに IT・AI・デザインが重なり、仕事の形もますます多様になっていきます。学校だけでは、子どもたちに伝えきれない、「仕事のおもしろさ」や「技術のおもしろさ」が、企業や地域の皆さんの中にはたくさんあります。

Nagano Tech Style Lab は、**教員の指導力と地域企業のみなさんの技術や知見**と、子どもたちの「オモシロイを形に！」を結びつけるプラットフォームでありたいと考えています。

ぜひ、法人賛助会員・個人賛助会員として資金面でお支えいただき、「モノづくり長野の未来」を一緒に育てていただければ嬉しいです。

一般社団法人 Nagano Tech Style Lab

代表理事 村松 浩幸（信州大学 教育学部 教授）

お問い合わせ・お申し込み

- 一般社団法人 Nagano Tech Style Lab
事務局：松本祐
所在地：〒380-0918 長野県長野市アークス 9-14
電話：026-219-2197
E-mail：info@techstyle-lab.jp
- お問い合わせ：<https://techstyle-lab.jp/inquiry>
- ホームページ：<https://techstyle-lab.jp/>
- instagram: https://www.instagram.com/nagano_tech_style_lab/